



ダウンタウンのざわめき…街の女
光のカクテル…濡れたアスファルト
けだるいジャズの吐息…
ニューヨークの夜が、ひそやかな何かをはらんで
いま、明けてゆく…

タクシードライバー



1976年度カンヌ国際映画祭
グランプリ受賞作品

〈カラー作品〉

TAXI DRIVER

ロバート・デ・ニーロ
ジョティ・フォスター アルバート・ブルックス ハーベイ・カイテル
レオナード・ハリス ビーター・ボイル
シビル・シェパード
監督 ■ マーチン・スコセージ
製作 ■ マイケル・フィリップス/ジュリア・フィリップス
音楽 ■ バーナード・ハーマン
(主題曲/サウンドトラック=アリスタ・レコード)

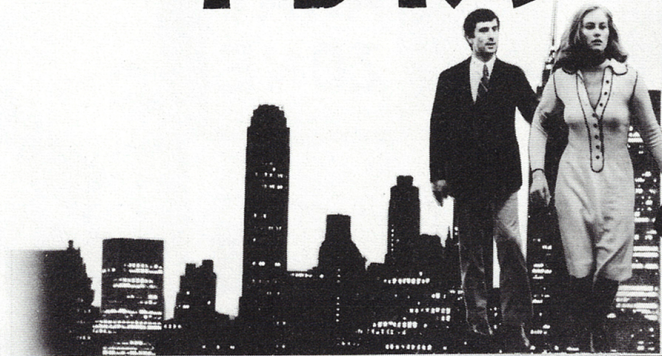
タクシードライバー



Production Services by Devon/Persky-Bright

タクシー ドライバー

＜カラー作品＞ TAXI DRIVER



主演のロバート・デ・ニーロもニューヨーク生まれ。スコシージの「ミーン・ストリート」(未公開)でニューヨーク映画批評家協会男優賞を受け、ついで「ゴッドファーザーPART II」で74年度アカデミー助演男優賞を獲得、現在もっとも注目されている若手スターである。近く「ニューヨーク・ニューヨーク」で三たびスコシージとコンビを組む。

共演は、ビューティ・スターのシビル・シェパード(ラスト・ショー)、14才、TVと映画で話題の演技派ヤング・スターのジョディ・フォスター(アリスの恋)。ふたりは、この映画できわめて重要な役割を演じている。ほかに、ハーベィ・カイトル、ピーター・ボイル(ヤング・フランケンシュタイン)等。



製作担当は、73年度オスカー受賞作「スティング」をプロデュースしたマイケルとジュリア・フィリップス。彼らといい、スコシージといい、シュレイダーといい、そしてデ・ニーロといい、「タクシー・ドライバー」は「ハリウッド第9世代」と呼ばれる最も新しい世代の人びとの協力で作りあげられた作品である。

2月公開以来、アメリカでは大ヒット、かすかすの興行記録を更新しつつある。ここに描かれる戦慄は、あらゆる人にショックを与えるに違いない。

これは迫真力にあふれた戦慄の物語であり、すぐれた人間ドラマとして、世界中で高く評価されている。

お互いに心のふれあうことのない大都会の人たち。ただひしめきあって生きているにすぎない都会の群衆。そんなひとりの青年が、自分の存在を必死で世間に認めさせようとする。これは26才のタクシー運転手トラビスの物語である。

タクシー・ドライバーは都会に生きる人間の典型的なタイプをそなえている。多くの人間に接触しながら、彼はクルマというメカニックの一部品に組みこまれている。ここにトラビスを“行動”に駆りたてたキッカケを見つめることができる。

脚本家ポール・シュレイダー(ザ・ヤクザ)がタクシー・ドライバーを主人公に選んだのは、そうした理由からだ。



マーチン・スコシージ監督(アリスの恋)は、撮影にあたってスタッフ、キャストのすべてをニューヨークに送りこんだ。ニューヨークこそ、彼にとって最高最大の豪華なセットだった。ニューヨークっ子だけしか知らない隅々まで、そしてニューヨークのナマのにおいがこの映画にいきいきととらえられている。



「タクシー・ドライバー」の音楽についていえば、バーナード・ハーマンの見事なスコアもさることながら、アルト・サクスが強烈な印象を残す。それもそのはず、その演奏者こそトム・スコットなのだ。

彼はクロス・オーバー(ジャズとかロックとかのジャンルを超越した)の若き旗手として活躍している今年28才のサク奏者。キャロル・キング、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、リンゴ・スター、ジョニ・ミッチェル等、ほとんどのアーティストが共演している。

映画・TV音楽界で著名なネイザン・スコットの息子で、父親同様、コンサートやレコーディングのほか、映画やTVでもどん欲に仕事をしている。「刑事バレッタ」「探偵キャノン」、NHK・FM「軽音楽アルバム」のテーマ曲(日曜11:05am)も彼の演奏によるものである。